

○蓄電池制御装置 脆弱性開示ポリシー

1. はじめに

日新電機株式会社 電力・環境システム事業本部(以下、当社)は、製品やサービスに関連する脆弱性を重要な問題として認識しております。お客様が安心して製品やサービスをご利用いただけるよう、脆弱性への対策を推進するための「脆弱性開示ポリシー」を制定いたします。本ポリシーに基づき、セキュリティ対策に努めてまいります。

2. 対象範囲

本ポリシーは、当社が提供する蓄電池制御装置を対象とします。

3. 脆弱性情報の受付について

当社では、脆弱性を発見された方からの情報を脆弱性受付窓口にて受け付けております。製品およびサービスに関する脆弱性について直接ご連絡いただく際は、下記の受付窓口までご連絡くださいますようお願いいたします。

ご入力いただきました情報につきましては、当社の個人情報保護ポリシー(<https://nissin.jp/privacy/index.html>)に従って管理いたします。

脆弱性受付窓口(<https://nissin.jp/inquiry/index.html>)

技術内容について→製品・サービス→再生可能エネルギー活用→蓄電池システムの「お問い合わせフォーム」よりご連絡ください。

4. 脆弱性情報の調査と対策準備について

ご連絡いただいた脆弱性情報は、当該製品の設計・開発部門にて確認を行います。

新規の脆弱性であることが確認された場合は、対策の実施と情報開示の準備を行います。

新規の脆弱性ではないことが確認された場合は、ご報告者様との合意のうえ、対応を終了いたします。

5. お客様への脆弱性情報の開示について

製品の脆弱性対応に関する情報および対策の経過状況について開示いたします。

情報開示は、情報をご提供いただいた方や製品利用者に対して、調整の上で開示できるように準備いたします。